学校番号	405

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新選日本史Ｂ 東京書籍						
副教材等	日本史通覧（帝国書院） 新選日本史Ｂワークノート（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 歴史を考察する基本的な方法を理解させるとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。

② 歴史的資料ならびに史料に着目して、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解させ、歴史を読み取らせる。

③ 生活様式や精神生活に注目、同時に世界の中の日本を考えさせる。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、人間としての感性と国際社会に主体的に生きる資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、日本国民としての責務を果たそうとする。	文献・史料から、その時代を読み取る。そして、その時代や政策を評価し、表現している。日本社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本史の基本的な事柄について理解し、知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	開国から明治維新	・開国 ・幕府の滅亡 ・統一国家の成立 ・近代国家をめざして ・殖産興業と文明開化 ・明治初期の国際情勢	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:日本の開国を世界史の流れの中で理解し、また、開国が半植民地的な条件の下で行われたことも理解している。 b:作品や史料を読み取り、日本人の考え方の変化を考察し、表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	立憲政治の形成と国民文化	・専制政治への批判 ・立憲政治の成立	○ ○	 ○	○ 	○ ○	a:帝国憲法の本質を、その制定過程の特徴および現行日本国憲法との比較において理解している。また、条約改正の交渉過程を内外情勢との関連で具体的に考察し、条約改正の困難さを理解し、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:政府の外交路線や中央集権的支配に反対する国民運動の高まりとその性格について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近代日本の民主主義運動の原点は、自由民権運動であること、その当初の主体が反政府派士族であったことを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	日本の近代化と東アジア	・日清戦争と東アジアの変容 ・「中国分割」と日露戦争 ・工業化と資本主義の発達 ・近代文化の発達	○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	a:日清戦争、日露戦争が国内の政治・経済の及ぼした影響を考える。また、開戦後の議会を中心とした国内の動きに関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:産業革命のその後の展開について理解し、それが日清戦争と深く関連していたことに着目し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:日露戦争における日本資本主義発展の特質を戦後経営との関連で理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	デモクラシーと市民文化	・第一次世界大戦と日本 ・新たな国際秩序と日本への影響 ・大衆社会の形成	○ ○ ○	○ ○	○ ○ 	○ ○	a:第一次世界大戦においての日本の対応、二十一ヶ条要求にみられる中国侵略の展開を中心にとらえる。また、大戦が日本に与えた経済的影響について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:社会運動組織の多くが分裂した背景を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 明治憲法体制下で、民主主義を実現しようとする多様な思想的試みがあったことを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	激動する世界と日本 占領と国内改革	・揺れ動く経済と中国侵略の本格化 ・日中戦争と国内体制の改編 ・太平洋戦争 ・占領と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と経済復興	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:当時の中国情勢と日中関係を理解し、満州事変が引きおこされた背景を読み取り、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:満州事変以後の日本の華北侵略の延長上に日中戦争が発生したこと、またその長期化によって戦時体制が強化され、国民生活がしだいに圧迫されていったことについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦争の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:戦争末期の国民生活が破滅的な状態にあったことを具体的に示し、戦争が生活におよぼす影響について考えさせる。また、敗戦に至る過程をたどりながら戦争の悲惨さをあきらかにし、あわせて戦後の世界秩序を作り出していった連合国の動向を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	国際社会への復帰と高度経済成長	・国際社会への復帰と対米協調 ・経済の高度成長	○ ○	○	 ○	○ ○	a:占領下の日本で、政党と社会運動が再生した過程を把握し、その中で国民の主体的な活動があったことを理解し、意欲的に追究しようとしている b:連合国による日本占領の機構の特色と、初期の占領方針による民主化政策が戦後日本の政治・経済の原点となっていることを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:日本の国際社会への復帰を可能とした緊張緩和の国際情勢を理解し、そうした情勢がもたらされた要因に注目し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	新しい国際秩序と日本の課題 石油危機と低成長の時代	・1970年代の国際社会と日本 ・安定成長への転換 ・激変する世界と日本 ・停滞する日本経済と成長するアジア	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○	○ ○ ○ ○	a:高度成長の過程を通じて、経済構造・社会構造が大きく変化したことを意欲的に追究しようとしている。 b:石油危機以後の国際情勢のもとで生じた政治・経済の変化について深く考える。 c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。